

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本テクノ株式会社			
代表者名	氏名	馬本 英一	役職名	代表取締役社長
主たる事務所の所在地	〒163-0651 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号			
事業者の区分	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する一般電気事業者		
	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する特定電気事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する特定規模電気事業者		
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者		
主たる事業の概要	・電気エネルギーに関する総合サービス業 1. キュービクル常時監視システム販売および省エネコンサルティング 2. 高圧電気設備保安管理・点検業務 3. 電気料金自動検針業務（テナントビルの自動検針システム） 4. 電力小売事業 5. 発電事業 6. 一般電気工事 7. 企業・住宅向け太陽光発電設備の販売			
電力供給量（総量）	1,302,710	千kWh	電力供給量（長野県）	4,709 千kWh

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26 年度	～	28 年度	報告対象年度	26 年度
------	-------	---	-------	--------	-------

3 公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.n-techno.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input type="checkbox"/>	その他	

(様式第1号)

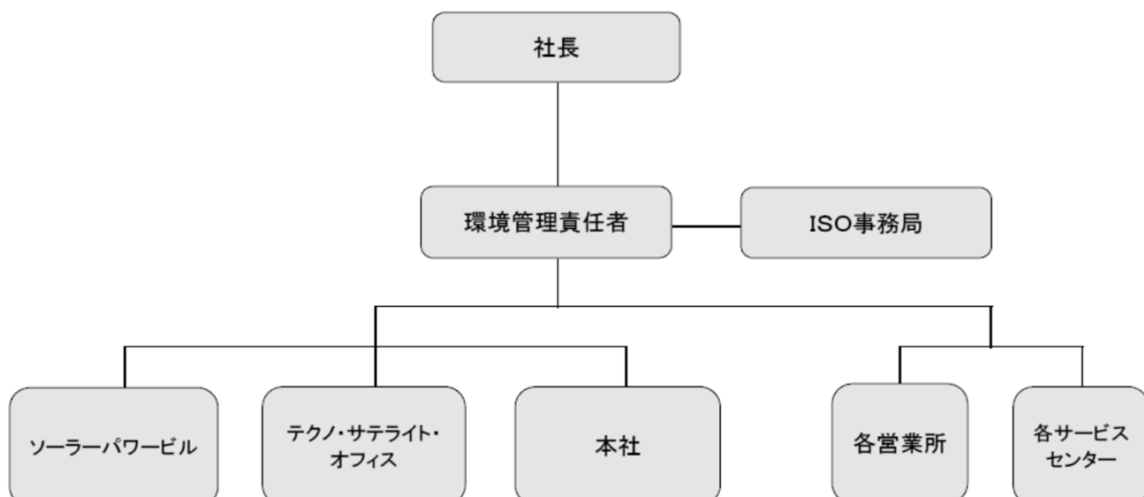
4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

自治体清掃工場からの余剰電力・水力・太陽光などの、環境負荷の低い電源の調達に努めてまいります。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

- ・ 関連会社の木質バイオマス発電所からの電力調達量を増加させていく予定です。
- ・ 当社は全事業所及び全組織の環境意識を向上させ、また環境対策を行う為、JISQ14001規格(2015年版)をもとに作成した環境マネジメントシステムを策定し実践しております。
- ・ 社内にISO事務局を設置し、全社の環境マネジメントシステムの実行業務の支援や、環境目標の設定・計画策定を行っております。
また、各部門の環境管理責任者への定期的な教育や、社員の環境意識を向上させるため、全社員に環境に関するトピックスをメール配信しております。

< 環境マネジメントシステム 体制図 >



(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標

基準年度	実排出係数	0.000482	t-CO2/kWh
平成25年度	調整後排出係数	0.000541	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	0.000467	t-CO2/kWh
平成28年度	目標削減率	3	%
目標設定に関する説明	自治体の清掃工場余剰電力入札に積極参加し、CO2排出係数の減少を目指します。		
第一年度	実排出係数	0.000532	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000588	t-CO2/kWh
平成26年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	693	千t-CO2
排出係数等の増減理由	排出係数の低い清掃工場余剰電力の受電電力量が減少し、その分を卸電力取引所から調達をした為。		
第二年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
平成27年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第三年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
平成28年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

当社の取引先など、太陽光発電所からの電力調達を目指します。
また、各自治体の清掃工場の電力入札に積極的に参加してまいります。

8 送配電時の電力損失低減に関する措置

該当なし

9 需要家の省エネルギー対策の推進に関する措置

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	・子会社にて需要家の設備改善を中心としたサービスを提供し、省エネ機器の導入・受変電設備の改修・再生可能エネルギー設備の導入など、効率的な事業運営の推進に向けてサポートを行っております。
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	・高圧電気の需要家に当社のスマートメーターを導入し、電力の「見える化」と「理解（わか）る化」で省エネ活動をサポートする「電力コンサルティング」を行っております。具体的には、需要家様のPCでも電力使用状況を閲覧出来るサービスを提供し、効率的な電気の使用をお客様自身で運用・確認を行えるシステムを提供しております。
その他	・高圧需要家に対して、電力使用状況の実績などの情報提供を電話や定期的な訪問にて行い、需要家に合わせた電気使用の効率化やCO2削減に向けたコンサルティングを行っております。

(様式第1号)

10の1 自然エネルギーによる発電量に関する目標

区分	発電量		増減率		自然エネルギーの種類 (内訳)
基準年度	2,300	千kWh		%	太陽光
目標年度	2,300	千kWh	0	%	太陽光
第一年度	2,315	千kWh	0.07	%	太陽光
第二年度		千kWh		%	
第三年度		千kWh		%	

10の2 自然エネルギーにより発電された電気の調達量に関する目標

区分	調達量				自然エネルギーの種類 (内訳)
			県内分		
基準年度	174,435	千kWh		千kWh	バイオマス (木質チップ、廃棄物)、太陽光
目標年度	600,000	千kWh	0	千kWh	バイオマス (木質チップ、廃棄物)、太陽光、水力
第一年度	143,208	千kWh	0	千kWh	バイオマス (木質チップ、廃棄物)、太陽光
第二年度		千kWh		千kWh	
第三年度		千kWh		千kWh	

10の3 自然エネルギーの普及・供給拡大に関する措置

<p>木質バイオマス発電所・他社太陽光発電所からの調達を増加する計画です。</p>

(様式第1号)

1 1 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究

該当なし

1 2 の 1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	日本各地で行われるエコイベント、行事への参加を積極的し、環境保全に向けた活動を行っております。 ・エコライフフェア in 代々木公園 ・「チャレンジ25キャンペーン」CO2 25%削減表明の記念イベント ・栃木地球温暖化防止活動推進センター主催 エコテック&ライフとちぎ ・茨城大学教育学部附属小学校での日本テクノ出張授業 ・「節電対策セミナー」 in 高松 など。
第一年度実績	日本各地で行われるエコイベント、行事への参加を積極的し、環境保全に向けた活動を行っております。 ・びわ湖環境ビジネスメッセ2015 ・福岡「モノづくりフェア2015」 ・北九州エコテクノ2015
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第1号)

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	・全国のおフィスにおいて、5S活動の実施・電気使用量の削減・コピー/OA用紙の使用量削減・ごみの分別の徹底と削減を実施しております。
第一年度実績	・社有車を使用する社員が道路上の法令を遵守し、環境に優しい運転を心がけるため、車の運行状況やルート、運転時間を完全に見える化し、管理を徹底しています。 それに伴い、速度オーバーや急ブレーキが減り、安全性の向上だけでなく、燃費も改善され、コストやCO2の削減につなげています。
第二年度実績	
第三年度実績	

13 自由記載欄

--